

東京湾 UMI プロジェクト「アマモ場再生活動」を行いました

朝日生命保険相互会社（社長 石島健一郎、以下「当社」）は、環境保全、特に生物多様性への貢献のため、東京湾 UMI プロジェクトの協力企業としてアマモ場再生活動を行いました。

当社は、2024 年度より東京湾 UMI プロジェクトの協力企業として東京湾において「アマモ[※]の保全・再生活動」に取り組んでいます。

6月8日（土）、「海の公園」（神奈川県横浜市金沢区）において、「金沢八景—東京湾アマモ場再生会議」と共催で、当社の職員およびその家族が、「アマモの花枝(かし)採取」の活動を行いました。

今後は、今回採取したアマモの花枝から種子を選別し、苗床づくり・種まきを通じて、海の豊かさを取り戻す活動を行っていく予定です。

<「アマモの花枝採取」の様子>



※アマモは、波が穏やかで太陽の光が届く浅い砂地の海辺に生息する海草の一種でブルーカーボン生態系の一種です。そのアマモが茂る場所を「アマモ場」と呼びます。

アマモは、海中の栄養を吸収し、酸素を放出することで海水を浄化し、小魚などの隠れ場・生育場、魚の産卵場になるため「海のゆりかご」とも呼ばれ、アマモ場の保全・再生活動に取り組むことで「水質浄化」「生物多様性保全」等の効果が期待されます。また CO₂ の吸収・貯留による気候変動対策への貢献も期待されています。

以上

貢献する主な SDG s の目標

